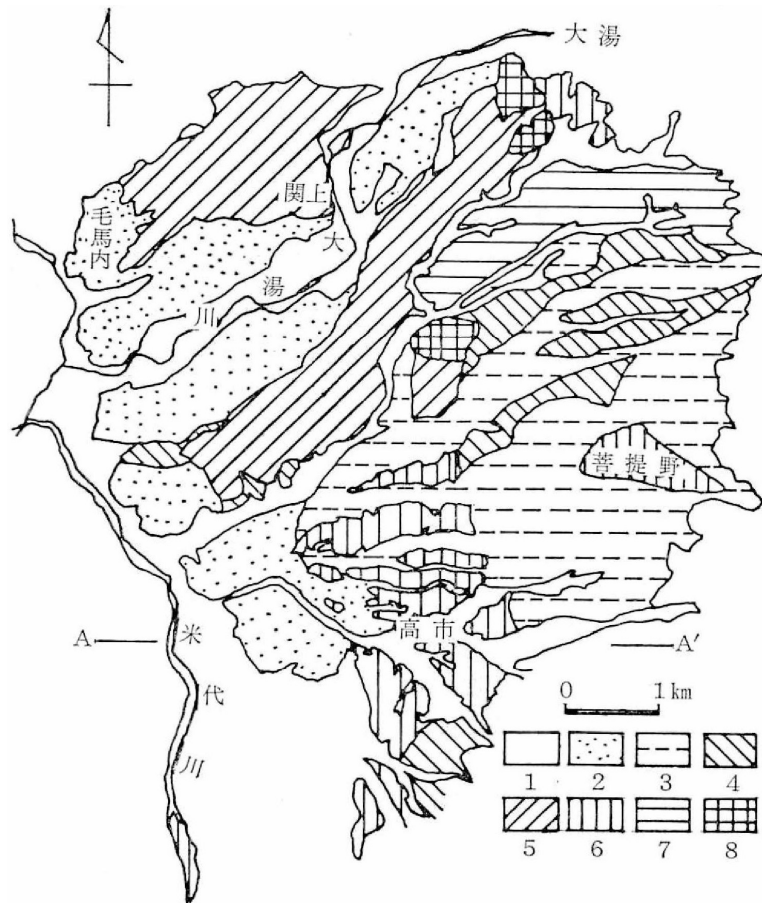


地形・地質

花輪盆地は東西3～7km、南北10km以上の長さを有する狭長な盆地です。この盆地は火山岩類を主とし、第三紀層より構成される山地および丘陵地によってとり囲まれ、第四紀後期に形成された6つの段丘と1つの低地面が発達します。

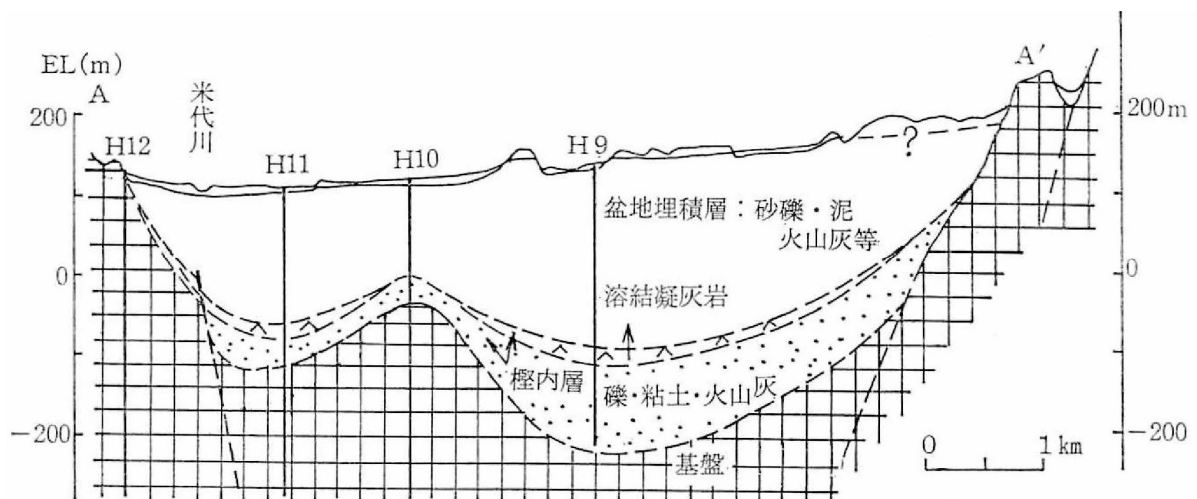
地下水

帯水層は菩提野段丘を構成する礫層と盆地埋積層があります。前者は盆地東部に扇状地を形成して発達し、扇中央部～扇端部に不圧地下水があります。後者は鹿角市街地下では主に砂礫から構成され、上部に不圧地下水、下部に被圧地下水があります。



- 1：低地面 2：毛馬内段丘 3：善提野段丘 4：草木段丘
 5：関上段丘 6：鳥越段丘 7：先鳥越段丘 8：山地
 A—A' 地質断面図位置

花輪盆地の地形区分図



花輪盆地の A-A' 地質断面図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwddb.html>（日本地下水学会）